

1	公開授業実施日時	2018年11月22日（木） 11:10～12:00
2	場所	京都教育大学附属桃山中学校 社会科室
3	対象	1年3組 39名
4	授業者	秋山 雅文
5	島名	グローバル・エシックス
6	単元名	アジア州
7	関連する教科・領域	社会科 地理的分野
8	単元の目標・ねらい	疑問の本質に迫ることができる有効な問いを考える。
9	グローバル・スタディーズとしての目標・ねらい	外国のことを学ぶ上で必要な、異文化に対する見方を考える。
10	単元の評価規準【教科・領域として】	A 疑問の本質に迫る問いがどのようなものかをつかみ、具体的な問いを重ねることができる。 B 疑問の本質に迫る問いを求めて、具体的な問いを工夫している。 C Bに至っていない。
11	単元の評価規準【グローバル・スタディーズとして】	A 異文化には価値観や考え方の違いが存在し、自分の尺度で測りきれないことを理解している。 B 異文化には価値観や考え方の違いがあることを理解している。 C Bに至っていない。
12	単元計画	第1次 アジア州の自然環境 1時間 第2次 アジア州の人口、文化、産業 1時間 第3次 経済成長によって変化する中国 2時間（本時はその1時間目） 第4次 国によって異なる経済成長－東アジア、東南アジア－ 1時間 第5次 発展するインド－南アジア－ 1時間 第6次 鉱産資源による経済成長－西アジア、中央アジア－ 1時間 第7次 アジア州のまとめ 1時間
13	本時の目標	・外国のことを学ぶ上で必要な、異文化に対する見方を考える。 ・疑問の本質に迫ることができる有効な問いを考える。
14	本時の展開	≪別紙指導案を参照≫
15	グローバル・スタディーズとしての特徴	生徒が外国語として接している言語の大半が英語であるなかで、中国語に正面から向き合う機会を設けた。異文化に対する理解を深めた先達が、質問に答える形をとってその理解を伝えてくれるように考えた。生徒の身近に起きる出来事に対する見方にはたらしかける内容であり、自身とのかかわりを意識させられるように仕組んだ。
16	授業者から一言	研究発表会での公開授業としたため、発言に慎重になり、思い切った意見や考えが出にくかったように感じた。授業後のしばらくの期間、通学時に見かけた中国の人たちについて話題にしている生徒が多く見られた。

# 社会科学学習指導案（グローバルエシックス）

京都教育大学附属桃山中学校

秋山 雅文

1 日時 平成30年11月22日 11:10～12:00

2 指導学級 1年3組 39名（社会科教室）

3 単元（題材）について

単元名 第1編 第3章 世界の諸地域 1 アジア州

本単元では、経済成長による変化を視点として持ちながら、アジア州について学習する。アジア州が広い範囲に及んでいることから、熱帯から寒帯までの地域があり、先進国から発展途上国までが含まれ、文化や宗教が異なる多様な民族が暮らしていることを認識する。その中で、国や地域によって異なる形での経済成長のようすとそれともなう国内の変化を学習していく。

生徒たちは、これまでに世界の大きな地域区分や、気候帯ごとの暮らしのようすを学んでいる。遠く離れた外国のようすや人々の暮らしに対して興味を持っているものの、その知識は断片的なものにとどまっている場合が多い。また、世界の諸地域について具体的に学習する最初の単元となるため、学習の進め方やどこまで調べたら良いかなどの感覚を十分にはつかんでいない。

本単元は比較的身近な場所にあり、日ごろからメディアで見たり観光客のようすに触れたりしている東アジアの国々についての学習を含んでいる。生徒たちに世界地理を身近と感じさせるとともに、学習の進め方をつかませることが重要になると考える。

単元の指導計画（全8時間）

時数		学習内容
第1次	1	アジア州の自然環境
第2次	1	アジア州の人口、文化、産業
第3次	2	経済成長によって変化する中国（本時はその1時間目）
第4次	1	国によって異なる経済成長 —東アジア、東南アジア—
第5次	1	発展するインド —南アジア—
第6次	1	鉱産資源による経済成長 —西アジア、中央アジア—
第7次	1	アジア州のまとめ

4 本時について

題材名 経済成長によって変化する中国

本時は、アジア州を大観することに続いて具体的な地域学習に取りかかる前に、外国や異文化について学ぶ上での視点を確認する学習を設定した。価値観が異なることを認識し、外国や異文化を自

分たちの尺度で測ろうとしないことで、偏見なく正しい姿を見ることができるようになる。このことを、生徒たちが普段からトラブルが多いと認識している中国人観光客を題材として、先入観を消し去っていく感覚を実感させ、その後の学習に生かすことが重要な意味を持つと考えた。

生徒たちは、アジア州の地形を学び、日本列島の面積と同じほどの湖があることや、凍りついた砂漠に驚き、シンガポール以外の東南アジアにも高層ビルが立ち並んでいることを初めて認識するなど、持っている知識が意外に少ないことに気づいたところである。そして、普段から話題になることも多い中国についても、新しい発見があろうことに興味を持っていることが事前のアンケートに記述が多かったことからもうかがえる。ただし、その内容からは、悪い印象を持っている生徒が大半を占めていると思われる。

そこで本時では、中国に暮らして実際に中国の人々とかかわっている人物に、生徒たちの疑問に答えてもらう映像を用いて価値観の違いに気づかせる学習を仕組んだ。何気ない疑問に対する答えの中から、価値観の違いを自ら発見することで、教えられた知識ではなく主体的な認識が育つものと考えた。

#### 目標と評価

- (1) 外国のことを学ぶ上で必要な、異文化に対する見方を考える。
- (2) 疑問の本質に迫ることができる有効な問いを考える。

#### 学習の過程

「授業づくり」について、次のような点に着目して授業改善をめざしている。

ア 導入を工夫し、生徒が学びたいと思える「めあて」を設定する。

イ 振り返りの時間を確保し、生徒が「分かった」「できた」「満足した」という実感を持って授業を終える。

ウ 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。

エ 子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める。

オ 各教科等で習得した概念や考え方を働かせ、問いを見いだして解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想、創造したりする。

過程	生徒の学習活動	教師による支援	研究との関連
導入	1 中国に関する事前アンケートの集計をもとに、本時の学習内容を確認する。  <学習課題> 中国の正しい見方を考える。	・集計結果をランキングにして示し、関心を高める。 <中国の人についての疑問> 1 日本をどう思っているか 2 なぜ爆買いをするのか 3 どこでも写真を撮るのか 4 なぜ声大きいのか 5 人口問題はどうか	ア 教師の体験や生徒が身近に目にしたことのある様子を思い起こさせることと、自分たちが書いた疑問が取り上げられることによって、興味を持って学習に臨むことができる。

展開	<p style="text-align: center;"><u>中国の人についての疑問を解決しよう</u></p> <p>2 疑問に答えたインタビューの映像を視聴して、キーワードをみつけながら文化や価値観の違いを感じ取る。</p> <p>&lt;予想される生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口問題は一人っ子政策廃止で大きく変化した。</li> <li>・中国の人の声が大きいののは発音と自己主張のため。</li> <li>・爆買いをするのは分けない相手の多さと中国製品に対する不信感のため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の人による答えと、中国に住む日本人による答えを編集した映像を準備する。</li> <li>・中国語を交えて話してもらい、いくつかの単語を聞き取らせることで関心を高め映像に集中させる。</li> </ul> <p>&lt;グローバルの視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちに対して語られた中国語に向き合い、少しでも意味が分かる部分があることを実感させる。</li> </ul>	<p>ウ 自分たちの疑問をもとに学習内容が設定され、自分たちの選んだ問いによって学習が進んでいくことにより、主体的に学ぶことができる。</p> <p>ウ 実際に現地に住む人による答えを自分たちに向けて話してもらうことによって、関心を持って取り組むことができる。</p> <p>エ 重ねる問いを班で短時間のうちに決めさせることにより、対話が促される。異なる考えを持つ班員と意見を交えることで視野を広げることができる。</p> <p>オ これまで漠然と持っていた印象が先入観であったと認識していくことを重ねることで、視野の広がりを実感させることができる。</p>
	<p style="text-align: center;"><u>何を尋ねれば有効な聞き取りになるかを考えよう</u></p> <p>3 示された答えを聞いて、さらに重ねて問うべき内容を考えながら文化や価値観の違いを感じ取る。</p> <p>&lt;予想される生徒の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこでも写真を撮るのは中国に限ったことではない。</li> <li>・日本に対する見方は人によって違う。これもどの国にもあること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重ねる問いの選択肢を示し、何を意図して選ぶべきかを班で話し合わせる。</li> <li>・有効な聞き取りに近づく考え方の一例を示し、問いを吟味する感覚を持たせる。</li> </ul> <p>&lt;グローバルの視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国の人というくり方ではなく、個人としてとらえる必要性に気づかせる。</li> </ul>	
振り返り	<p>4 世界地理を学ぶ上で大切な視点を確認し、学習課題が達成されたかを自己評価する。</p> <p>&lt;振り返りの問い&gt;</p> <p>外国のことを学ぶときに大切なことは何ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの問いを与え、学習課題の「正しい見方」が具体的にどのようなものであるかを考えられたか自己評価することを促す。</li> <li>・キーワードとなる「広い視野」を、今後の学習で具体的にしていくことを確認する。</li> </ul>	<p>イ 振り返りの問いに答えが書けたことによって、本時の学習で新たな視点を持ったことを確認できる。同時に、その具体化を求めて学習を進めていく必要性に気づかせることができる。</p>